

「いつつのわふれあい祭り」パネル展

実施期間	令和2年7月13日～令和2年11月12日
参加人数	約250名
事業費総額	約54万円

事業の概要

1. 「いつつのわふれあい祭り」は、平成23年度から、地域住民の交流を促進し、地域の活性化につなげることを目的として開催している。今年度はコロナ禍のため縮小し、地域の皆さまと祭りの歩みを写真で振り返る「パネル展」に変えて実施した
2. 大森東地区の伝統文化である海苔養殖、本地区の特色である羽田空港に関する資料展示のほか、多文化共生社会の理解促進を目的とした「やさしい日本語クイズ」も合わせて行った
3. 「一人一羽・千人千羽鶴プロジェクト」では、コロナ禍の早期終息を願い、実行委員が中心となって地域へ呼びかけ集まった1万羽以上の折り鶴で、「千羽鶴」をはじめとする華やかな作品を作り上げた

主な経費

- 1 物品購入費：感染症対策用品（アルコール、マスク等）、コピー用紙、筆記用具、会議用飲料、折り紙
- 2 印刷経費：写真印刷費、自治会紹介リーフレット印刷費、パネル展のチラシ及びポスター作成費用
- 3 レンタル・リース料：展示用パネル

参加団体

大森東特別出張所、地域包括支援センター大森東、大森南図書館、大森第四小学校、中富小学校、大森消防署森ヶ崎出張所、大森東地区社会福祉法人、管内シニアクラブ、ほのぼのサロンなとりさんち、株式会社伊藤園、ケイエム観光バス株式会社

事業の効果

- コロナ禍で集まりが制限される中、地域住民一人一人が「祭り」という目標に向けて工夫を凝らし、成功につなげた。地域の団結力がより一層強まった。
- 祭りの歩みを振り返る展示では、当時を懐かしむ話に花が咲き、地域交流の場となった。記念回となる次年度の実施に向けた気運醸成につながった。
- 子どもから高齢者まで幅広い世代の参加があった。学校、民間企業、各種団体による積極的な協力もあり、大森東地域に一体感をもたらした。

フォトギャラリー

